ゆいちゃんはシリタガリーノ!!

星木レイ

浄土宗コドモタイムズ
第57号
発行
浄土宗児童教化連盟
発行人
三宅　明信
〒833-0013
筑後市北長田706-2
林鐘院内
TEL 0942-52-5524
FAX 0942-54-1189

カモの眠るころ

詩・絵　今井 康隆

夕ぐれの中川を
ツ、ツーと
マガモが二羽下る
ツ、ツーとスケーターのように
マガモが下る
クル、クルと一列に
輪をかくと
まるでメリーゴーランドだ
ツイッ、ツイッと向う岸に
泳いでゆき
川面にせり出した
藪にかくれた
寝ぐらをさがしているのだろうか
ツ、ツーッと、眠ったまま
流れやしないかな
ツ、ツーッと、眠ったまま

仏教と植物

「マツリカ」

花の香りの強いこの植物は漢字で茉莉花と書きます。その古い言葉でマリカーが語源です。南アジアに広く分布します。高さは一～二メートルで花は小さく白色で色々な品種があります。

マツリカはお経の中にたびたび出てきます。香りがよいので徳のある人を表すのに引用され、仏典の中で最もすぐれたものとされています。また東南アジアのお寺では仏さまへのお供えの花として使われます。

日本ではジャスミンとして有名で、ジャスミンティーとして飲まれます。

質問

正座をするとすぐに足がしびれます。しびれない方法はありませんか。

（小六 女子　京都）

答え

正座をする機会が少なくなっていますが、お寺参りやお家でのご法事などで正座をすることはあるでしょう。そんな時すぐに足がしびれてしまうことがあります。またすぐに立ち上がれないこともありますね。お坊さんでもそんな時はあります。

さて足がしびれなくする方法ですが、小笠原流礼法によると、正しい正座は背筋を伸ばし前の方に体重を落とすようにして、かかとをおしりの間に紙を一枚はさむように上半身を上げて、足の親指を重ねるとよいのだそうです。

一度ためしてみてくださいね。

「昔の子どもの遊び」②

みなさんはどんな遊びをしますか。

子どもの遊びは時代によって変ってきます。昔はどんな遊びがあったのでしょうか。今では考えられないものもあります。

今回は鎌倉時代から江戸時代までの子どもの遊びを見ていきましょう。

目くらべ（にらみくらべ）…にらめっこのことです。おたがいににらみ合って、先に笑ってしまった方が負けという遊びです。にらみくらともいいます。

昔は遊びとしてばかりでなく真剣勝負の方法でもあったようです。「平家物語」という昔の物語にも、平清盛が夢の中で多くのどくろとにらめっこをして勝ったという話があります。

貝おおい…今でいうカルタ取りのような遊びです。一枚の貝を二つに分け、地貝（二つに分けた右がわの貝）をいくつも輪にならべて置きます。そこへ出し貝（二つに分けた左がわの貝）を一つずつ出しながら、それと対になる地貝を探し出す遊びで、多く取った人が勝ちとなります。

合わせやすいように和歌を上の句と下の句に分けて書いたり、同じような絵を描いたりもしました。

振り皷…今でいうでんでん太鼓というおもちゃのことです。小さな太鼓に棒をつけて左右から玉のついた糸をつけます。棒を振ると玉が太鼓に当たって鳴るようになっています。

たこあげ…今でもお正月にたこあげで遊んだりしますね。たこ（凧）の起源は中国にあるといわれ、日本には平安時代のころに伝わったそうです。

たこあげのことを昔はいかのぼりと呼んでいました。たこの形が魚のイカに似ているからです。たこあげをしていて、たこが落ちてきたため畑に被害が出たりケガ人や死者が出たので、とうとう「いかのぼり禁止令」が出されました。禁止令によってたこあげが出来なくなるのは困るので、江戸の人は、いかではなくてたこだ、いかのぼりではなくてたこあげだと言い張ったといいます。

それから関東では「タコ」、関西ではイカと呼ばれ、明治時代になってタコが標準になりました。

たこには絵が描かれている絵だこ、文字が描かれてある文字だこなど、また形によってやっこだこ、カラスだこなどの種類があります。

これも仏教の言葉だよ！

「ごたごた」

整理がつかず雑然としていたり、秩序やまとまりがないことを「ごたごたしている」といいます。この言葉の由来にはいくつか説がありますが、お坊さんが語源のものを紹介します。

鎌倉時代に宋の国から兀庵普寧という臨済宗のお坊さんが日本にやってきました。この人のお説教は時間が長く、簡単な話でもとても難しく話したので、聴いている人は訳がわからなくなってしまったのです。

このことから混乱してややこしくなったことを、「兀庵の話を聴いているみたい」の意味で「ごったんごったんしている」いわれるようになったのです。それがちぢまって「ごたごた」となったそうです。

みんなで考えよう　ちがいさがし

絵：岡本こずえ

右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。しめきり1月20日です。

送り先
〒833-0013
筑後市北長田706-2
林鐘院内
浄土宗児童教化連盟事務局
TEL 0942-52-5524
FAX 0942-54-1189

前回の答え

お知らせ

◇みなさんからの記事を待っています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も待っています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は　〒833-0013　筑後市北長田706-2　林鐘院内　浄土宗児童教化連盟事務局
TEL 0942-52-5524　FAX 0942-54-1189
感想もいっしょに書いてくださいね。

ぷくぷく編集室

日本で開催されたラグビーのワールドカップは、日本の大活躍もあってとても盛り上がりました。

予選リーグでの日本対アイルランド戦の試合前の出来事です。アイルランドの国歌斉唱の時に、客席で日本人がアイルランドの国歌の歌詞が書かれた紙を持って歌っていたのです。

日本と戦う相手国に敬意を表して、相手チームを後押しする気持ちを表したものと、海外の人たちからもほめたたえられました。これはアイルランド戦だけでなく、他の試合会場においても見られました。

また事前キャンプ地では地元の子どもたちがキャンプのチーム国の伝統的な踊りで歓迎したり、地元の少女たちから聖歌の合唱が贈られたりと、おもてなしの精神が発揮されています。

そんなおもてなしに答えるかのように、試合後に観客席に向って日本式のお辞儀をしたり、試合後のロッカールームをきれいに掃除したりと感謝の気持ちが示されました。

日本人のおもてなしの精神は、相手を幸せにするとともに自分自身をもうれしい気持ちにするものです。大切にしたいですね。